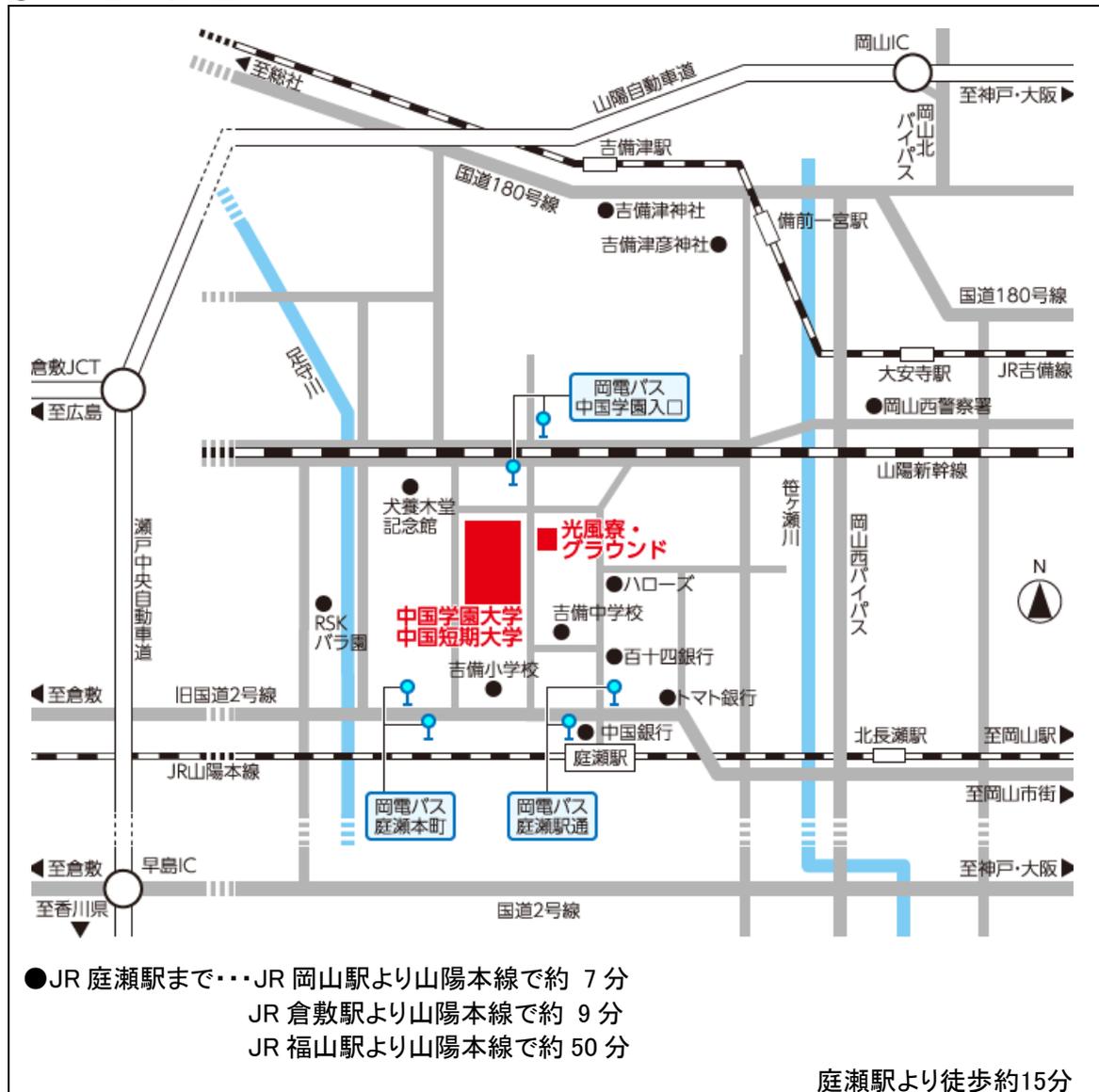


(14) 中国学園大学

① 開講期間・試験期間・授業時間について

開講期間	前期	2020年4月20日	～	2020年8月8日
	後期	2020年9月24日	～	2021年1月26日
試験期間	前期	2020年8月10日	～	2020年8月14日
	後期	2021年1月27日	～	2021年2月4日
授業時間	1限	9:20	～	10:50
	2限	11:00	～	12:30
	3限	13:10	～	14:40
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:30	～	18:00

② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

教務課	
所在地:	本館 2階 事務局 教務課
電話:	086-293-0542

④ 大学コンソーシアム岡山単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

本学では、申込期限は前期:4月7日(火)まで、後期:9月23日(水)までとします。
ただし、所属大学によって、提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

・ 履修手続

所属大学の窓口にて所定の期間内に単位互換履修願(写真添付)を提出してください。

対面授業科目を履修する方

初回授業で来学の際に以下の印刷物等を配付します。また、講義室の場所等の説明も行いますので、初回は時間の余裕を持って教務課窓口まで来てください。

- ① 学生便覧
- ② 授業時間割表
- ③ シラバス(該当科目)
- ④ 学生証(単位互換履修生証)
- ⑤ 図書館案内

・ 施設利用

中国学園大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・学食等が利用可能です。
図書館の利用方法は、図書館カウンターで、単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

⑤ 各科目のシラバス

各大学ホームページ シラバス掲載URL

<http://syllabus-cjc.jp/koukai/>
(中国学園大学・中国短期大学HP→Web シラバス→シラバス検索)

・ 対面授業科目

対面授業			14001	
授業科目名:生物学			担当教員氏名: 田中 徹也	
Biology				
1~4年次	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の目的】 私たちが毎日摂取する栄養には、3つの異なる役割がある。その3つとは、体を作るために必要な材料であり、エネルギーの元であり、体が円滑に動くための潤滑油である。体をつくる材料は、化学物質として蛋白質、脂質、糖などである。また、エネルギー源となる化学物質は糖と脂質が、主である。潤滑油となる化学物質は、ビタミンや、ミネラルである。蛋白質、脂質、糖、ビタミンはどのような化学構造(分子構造や元素)をもつ物質であり、ヒトの体の中で、どのように体を作る材料や、エネルギー源になるのか、について基礎理解することが、この講義の主な目的とする。</p> <p>【到達目標】 基礎生物学では、体の仕組みの中で器官と呼ばれるものの役割やお互いの関係を知ることが目的とするのに対し、この生物学では、体を構成するもっとも小さい生命単位である細胞がどのようにつくられるのか、栄養は細胞の中でどのように役立つのか、分子のレベルで理解することを目的とする。このため、蛋白質や糖、脂質核酸を有機化学の言葉で理解するので、有機化学の基礎も学ぶ。基礎生物学とあわせてヒトの生きる仕組みが理解できるようになる。</p> <p>【授業内容】 1 生命とはなにか ヒトの体の構成は、大きな単位として、器官組織があり、最も小さい単位は細胞である。 2 細胞とはなにか 細胞の形や働きについて。また、細胞を構成する細胞内小器官の役割について。 3 細胞内小器官の役割1 4 細胞内小器官の役割2 5 代謝の仕組み1 6 代謝の仕組み2 7 酵素とは1 8 酵素とは2 9 体をつくる糖質の化学的特徴と細胞での存在部位は？ 10 糖質はヒトの活動のエネルギー源となる。エネルギーとはなにか？ATPとはなにか？ 11 テンピンを口に取り入れてからATPができるまでの仕組み。 12 呼吸をして酵素を取り入れるのは何のためか？ 13 ミトコンドリアの働きについて。 14 遺伝の仕組み。 15 たんぱく質の合成の仕組み</p> <p>【テキスト】 『「生物学」ヒトの環境と生命科学』, 川崎祥二他, 建帛社 『視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録』, 数研出版編集部 編, 数研出版</p> <p>【参考図書】 『Essential 細胞生物学』, 中村佳子・松原謙一 訳, 南江堂</p> <p>【成績評価の方法】 授業への取り組みの姿勢・態度(30%), 小テスト(20%), 最終試験(50%)の成績を基準に評価する。</p>				

対面授業			14002	
授業科目名:異文化コミュニケーション論			担当教員氏名: 佐生 武彦	
Cross-cultural Communication				
1～4年次	2単位	後期	1コマ	
<p>【授業の概要】 「文化」及び「コミュニケーション」という2つの言葉を、私たちは日常生活においてほとんどその意味を吟味しないまま口にすることが多い。理由は、両者ともに深く考える対象としては、あまりにも私たちの身近にあり過ぎるためであろう。この講義では、「文化」や「コミュニケーション」など一連の諸概念を詳しく考察すると共に、日本人が多用するコミュニケーション型と諸外国で用いられるコミュニケーション型を比較検討し、これらコミュニケーション型の違いから生じる諸問題とその解決方法について学習する。</p> <p>【到達目標】 『「異文化を理解する」とはどういうことか』、また「日本人のコミュニケーション行為の諸特徴とは何か」等の設問に答えることが出来るようになること。なお、本科目はディプロマポリシーに掲げた学士力の内容のうち、〈知識・理解〉、〈思考・問題解決能力〉、〈技能〉、〈態度〉の修得に貢献する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 なぜ異文化コミュニケーション論を学ぶのか？ 2 「文化」とは何か① 3 「文化」とは何か②:「文化」vs「文明」 4 「文化」とは何か③:Melfordo E. Spiro の文化観 5 ことばと文化 6 コミュニケーションとは何か:知覚・意味・解釈 7 日本人のコミュニケーション①:コミュニケーションの動因と志向性 8 日本人のコミュニケーション②:コミュニケーションの基本型 8 9 文化・情報・コミュニケーション 10 トランプ遊びによる「擬似異文化体験」 11 文化相対主義の批判的考察① 12 文化相対主義の批判的考察② 13 英語コミュニケーション①:「英語支配」を考える 14 英語コミュニケーション②:認識と実践 15 全体のまとめ 				
<p>【テキスト】</p>				
<p>【参考図書】 『異文化コミュニケーションキーワード』, 石井敏他著, 有斐閣</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業への取り組みの姿勢・態度(20%), レポート(30%), 最終試験(50%)の成績を基準に評価する。</p>				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

中国学園大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部			学科	年
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年	
		男・女		昭和・平成	年
現住所	〒 - Tel () -				

* 履修受付締切日: 前期: 4月7日(火)まで 後期: 9月23日(水)まで

* 区分(教養/専門): 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
14001	生物学	教養	田中 徹也	2	後期	1~4	定員 10名	木 14:50~16:20		
14002	異文化コミュニケーション論	専門	佐生 武彦	2	後期	1~4	定員 10名	月 14:50~16:20		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	単位互換科目 履修願用(本紙)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	0 枚	2 枚